

2024年 6月 9日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会

②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱

②白川 達男兄

賛 美

聖歌232番「罪とがをゆるされ」

～You Raise Me Up～

ヤベツの祈り

聖書朗読

使徒行伝4章32～37節

特別賛美

「What a beautiful name」堀井ローレン姉

メッセージ

「大きな恵みが注がれている」

石井 潤 牧師

聖 餐 式

賛美「主イエスの十字架の血で」

献金・賛美

聖歌229番「おどろくばかりの」

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

特別映像

「OMG」堀井ローレン姉

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆  
《今週のお知らせ》

☆本日は聖餐式の恵み(主の十字架)を感謝致します！午後は執事会を行います。

★今週の祈り会：①早天祈禱会 明朝6時、 ②祈禱会：木曜午前10時半、  
夜7時半（大和祈禱会映像）。 ③準備祈禱会：土曜夜8時。

☆来週日曜午後2時半サトミューゼ`小ホールにてゴスペルコンサートが行われます。

音楽：堀井ローレンさん、メッセージ：キャロリン・愛子・ホーランドさん

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [6/9-16] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	歴代志上1-3	4-6	7-9	10-12	13-16	17-20	21-23	24-27
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇

## 「大きな恵みが注がれている」

～与えられている恵みをきちんと理解する～

「信じた者の群れは、心を一つにし思いを一つにして、だれひとりその持ち物を自分のものだと主張する者がなく、いっさいの物を共有にしていた。使徒たちは主イエスの復活について、非常に力強くあかしをした。そして大きなめぐみが、彼ら一同に注がれた。」

使徒行伝4章32-33節

使徒行伝のペンテコステ以降、すばらしい神様の恵みが豊かに一人一人に注がれ続けました。信徒の数が、爆発的に増加したとしても、その恵みは決して薄まることはありませんでした。これは聖霊様のお働きでした。

しかし、5章から、突然「ところが」という接続詞と共に、そんな一点の曇りもない、隙も無い恵みのバリアの中にありながら、とんでもないことが起きてしまいました。大勢になった教会の状況の中で、使徒たちの存在は、神がかつたような存在に見えたのでしょうか。この夫婦は、その力ある存在の近づきたい、重用されたいという思いがあったのでしょうか。あるいは、捧げた土地の大きさを自慢したかったのか、捧げるには惜しいような価値のある物件だったのか。とにかく、純粋に捧げる思いではない不純な心で捧げものをしてしまったという事件が起こりました。自分の心からのものでない神様へのささげ物。また、その捧げものをいい加減に扱ってしまったという状況。自分の心に正直になれば良かったのですが、心の中の何かが、二人の心を不純なものに変えてしまいました。

これは旧約聖書の中でのアカンアハノムの罪を思い起こさせます。ヨシュア記7章に書かれています。エリコを攻略したときに、神様からの命令により、エリコのすべてのものを滅ぼし尽くさなければならないという命令が与えられましたが、たった一人のアカンという人物がその中のものに手を出してしまい、自分のものとしてしまいました。その結果、次の小さな町アイトアイトの当然勝つはずの戦いで、完全に敗北することを通して、そのアカンアハノムの罪をヨシュアに知らせました。この出来事は神様の領域に人間が決して手を出してはいけないというメッセージでした。

しかし、新約のこのアナニアアナニアとサツピラサツピラの事件は、自分の財産の全てを捧げなければならないというわけではありませんでした。捧げものに問題があったのではなく、彼らの心に問題がありました。偽って、欺いてまで、自分のささげ物を自慢したかった。他の信者との比較の中で、自分たちを少しでも価値ある存在として伝えたかったということでしょうか。神様の心ではなく、人間の世界だけを見ていたということです。

イエス様も福音書の中で、ミナとタラントの話をしていますが、三人目のしもべは主人が恐ろしい存在なので、用いることなく、隠して、そのまま返したというたとえ話を語られましたが、これも、神様の存在をきちんと理解できていなかったために起こったことでした。もしも、アナニアとサツピラが神様が恵み深いお方であることを理解していたならと思ってしまう。